



もちつきに歓声



歓声をあげてもちつきを楽しむよい子たち

相内保育所（高松隆三所長）園児七十八人では十二月十五日、もちつき会を行い、園児たちはかわいいうエプロンと三角きんを締めて次々とキネを持ち上げ、ベツタンコ、ベツタンコと歓声をあげなが

ら、もちつきを楽しみました。相内保育所では、昔ながらの風情あるもちつきを子どもたちに楽しんでもらおうと、毎年実施しているもので、当日は朝早くからお母さんたちが準備をすめました。

園児がホールに集合して、初めはお父さんたちがもちをつきあげるのを行儀よく、待ち遠しそうにみていたが、もちがつきあがると、お母さんたちと一緒に、かわいい手でこねて丸め、もちのつくり方を教わっていました。そのあと、お父さん、お母さんと一緒になって舌鼓を打ちました。

昭和56年 12月号

立ちあがる手にあなたの手を

あすなるのつどいに180人出席

みんなで広げよう愛の輪ふれあいの輪



講演する
小田原金一先生

意欲的に福祉事業を推進

つどいで理解を深め合う

国際障害者年にちなみ十一月二十七日、相内児童館で村民ふれあいひろば「あすなるのつどい」を開きました。

つどいには村民約百八十人が参加して国際障害者年の意義と障害者問題に対する理解を深めました。

本村の心身に障害を持つ人たちは二百六十人のばり、一人一人は村民十五人に一人という高い比率を示しています。

それだけに、障害を持つ人も持たない人もすべてが平等な権利と友情と連帯に結ばれた、新しい社会をつくらうとの趣旨で開かれた「つどい」は、大きな成果をあげました。

また、白川村長は、「国際障害者年」は今年がスタートであり、向う十年間の事業として努力していきたい。障害者のかたがたも可能なかぎり、地域社会の活動に参加するなど、この機会を積極的に活用して下さい」とあいさつし、障害者福祉事業への意欲を示しました。



友情と連帯に結ばれた新しい社会をつくらう
とお互いが理解を深めました

次いで青森市在住の教育評論家小田原金一先生が「心のふれあい」と題して講演。障害者を出さない第一の方法は子どもの養育にある。極力母乳で育てること、など、独特のユーモアを交えながら講話しました。このあと、各地区の婦人会による手踊りなど芸能発表があり、なごやかな一日を送りました。

国際障害者年



完全参加と平等

「完全参加と平等」という画期的なテーマの真の實現のために、国際障害者年の本年をスタートとして、障害者を持つ人も、障害のない人もすべての人びとが平等な権利と、友情と連帯に結ばれた新しい社会をつくるためにいまこそ力強い第一歩をふみだしましょう。

健康で生きがいのある老後を
高まる学習意欲



「観賞菊」を持ち寄り、展示会も行いました

市浦村・金木地区農業改良普及所共催のやまびこ大学「ことぶき学級」は、十一月二十二日基幹集落センターで開かれ、約百人が出席して意見発表や「観賞菊」を持ち寄り、なごやかなひとときを過ごしました。

やまびこ大学「ことぶき学級」は、健康で生きがいのある老後——をテーマに、今年六月からスタートし、毎月一回平均に学習を積み重ねてきたものです。

この日持ち寄った「観賞菊」は、去る六月金木地区農業改良普及所の三上主任の指導を受け、配ばられた苗をそれぞれが持ち帰って育ててきたもので、いずれもみこに育てあげられたものばかり。

また、この日は各老人クラブの代表から、健康で生きがいのある老後についての意見発表があり、金木地区農業改良普及所の葛西賢三所長からそれぞれ記念品が贈られました。

集まった「学級生」は、昼食をはさんで「展示された観賞菊」を「サカナ」に「献くみかわし、勉強の成果と健康で生きがいのあるひとときを過ごしていました。

コミュニティセンター着工

来年8月完成めざす

住民福祉の向上と

ふるさとづくりの拠点に

村民から要望のあったコミュニティセンターは、二カ年継続事業でスタートし、来年八月完成へむけて工事は急ピッチですめられています。

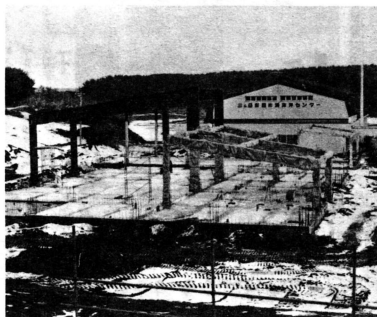
B&G財団市浦海洋センターの北側に隣接して建設されるコミュニティセンターは、廊下で結ばれ、完成すると住民の健康増進とあわせて、住

当村には、各集落ごとに集会施設が設置されていますが、これら施設の総合的な機能を持つ中央公民館の性格の施設は、冠婚葬祭や村民ぐる

みの集会、研修、大会、行事等の開催には大きな支障をきたしています。コミュニティセンターの建設は、社会教育の振興と基幹

集落の育成、更には地域社会の再編をはかることとし、住民相互が心のふれあいを通じ

て、明るく住めるようなコミュニティ社会を推進することを目的としています。



早期完成が待たれるコミュニティセンターは、今急ピッチの工事ですめられています

民福祉の向上をめざした総合的施設として利用されることになっていきます。

コミュニティセンターは、鉄骨鉄筋コンクリート二階建てで総工事費は、二億八千六百八十三万三千円。

総床面積は、一千四百六十八・八平方メートル、内部施設の主なものは、二百二十一・七平方メートルの式場(和室三百五十六・五平方メートル)のスタジオ付きホールのほか、老人室、茶室、視聴覚室、育児相談室、加工実習室などがあります。

現在、基礎工事も終え来年八月竣工をめざしていますが、村では、社会教育と関連させ、住民がより人間的に豊かな住める「ふるさとづくり」をめざしたコミュニティ

形成をはかることにしています。また、コミュニティセンターは、各地区集落に設置されている集会所の総合的センターに位置づけることにしており、住民一人一人が積極的に地域社会づくりに参加する気運を高め、明るく豊かな住みよい村づくりにつとめることとしています。

コミュニティセンターの名づけ親になりませんか

村民が、物心両面にわたって明るく豊かに住めるコミュニティ社会の形成をはかるため、コミュニティセンターの名称を募集することになりました。

村民に親しまれる施設にするために、村民多数の応募を呼びかけています。

■応募要領 一人一点
▽応募メロ、昭和五十七年一月三十日、佳作三人には賞状と記念品を贈呈。
▽入選発表は、昭和五十七年三月一日。

詳しいことは、市浦村役場企画室におたずねください。

ひとこと



市浦中平校 鶴賀善宏

近年特に、社会教育の充実がきげばれるようになり、同時に社会教育の施設の充実が各地でされてきました。市浦村に出席させていただく機会があり各部の集会所、公民館におじゃましています。村民の利用は、いま一步ということを感じております。

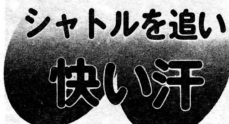
このたび相内にコミュニティセンターが作られることになり一日も早く完成されることを待つ一人です。

コミュニティというのは「その地域に住む人々が温かな心のふれあいを通じて話し合い助け合い、よりよい環境や心豊かな暮らしを求めて協力しあえるむらづくり」ということです。やがてでるセンターで多くの村民の学習の場ができることは喜ばしいことだと思います。海洋センターようですが、村民が利用しやすいコミュニティセンターが

できることを期待しています。

村民バドミントン大会で

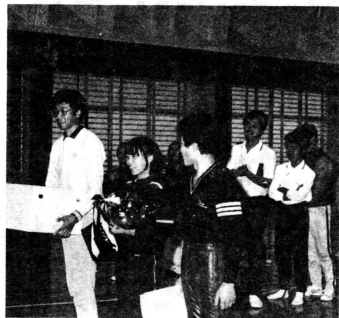
親睦深める



第五回村民バドミントン大会は、十一月二十八、二十九の両日、村民約六十人が参加して、B&G財団市浦海洋センターで開催されました。

体育協会(山田勝明会長)とバドミントン(愛宕と健康)政委会長では、美容と健康バドミントンの普及を目的に村民を対象としたバドミントン教室を積極的にすすめてきました。

バドミントンは、特に女性



B & G財団会長杯を受けた市浦チーム

の間で人気のあるスポーツで

したが、最近では村民の健康スポーツとして誰にでも気軽に楽しく出来るスポーツとして人気が高まっています。

この大会は、市浦村教育委員会が主催(体育協会主管)したもので、カラフルなポイントウェアに身を包んで参加した村民を前に山田勝明会長が「バドミントンは軽スポーツのようにもみえるが、実際はハードで、ルー儿的にも非常に難しいスポーツである。

バドミントンを通じて村民相互の親睦と体力増進につとめてほしい」とあいさつしました。

競技では、スポーツ教室で指導、特訓を受けてきた人だけに、ラケットを持つ手は軽やかですが、好プレーのなかには珍プレーもみられ、スビド豊かに飛ぶシャトルを汗びっしょりで追い続けていました。

また、この日は、他町村との交流親睦とバドミントンの輪を広げるために、第一回B&G財団会長杯(笹川良一会

長)争奪津軽バドミントン大会も開かれ、鯉ヶ沢、中里、小泊、市浦村から参加した選手に大きな声援が送られ、快い汗の中で親睦を深めあいました。

競技結果は次のとおりです。

- 村民バドミントン大会
 - 優勝、奈良勇一、準優勝、三浦美智男、三位、三和剛雄、成田実。
 - ▽女子シングルス
 - 優勝、三和広子。準優勝、梶浦るみ子。
 - ▽シニアシングルス
 - 優勝、白川隆治。準優勝、相川常雄。三位、藤本恒徳。
 - ▽ママさんシングルス
 - 優勝、藤本則子。準優勝、岩館逸子。三位、三上久恵、松江陽子。
- ▽津軽バドミントン大会
 - ▽団体戦
 - 優勝、市浦バドミントン部。準優勝、鯉ヶ沢町。三位、小泊村・中里町。
 - ▽男子シングルス
 - 優勝、本間正純。鯉ヶ沢。準優勝、加藤武春。鯉ヶ沢。三位、伊藤直照。中里。三和悦徳(市浦)。
 - ▽女子シングルス
 - 優勝、浜野季子。市浦。準優勝、沢田愛子。中里。三位、奈良徳子(鯉ヶ沢)。

父母の声援にはりきる

豆剣士、第1回ちびっこ剣道大会



45人が参加したちびっこ剣道大会

健全な精神は健全な肉体にやどる。市浦村教育委員会(徳谷佐二)教育長、主催の第一回ちびっこ剣道大会は十二月六日、B&G財団市浦海洋センターに四十五人の「豆剣士」が参加して開かれました。

青少年の健全育成と剣道の普及をめざして、相内地区の小・中学生を対象に剣道教室を開催していたのですが、B&G財団市浦海洋センターが完成してからは、村内全域に呼びかけ、現在六十八人の「豆剣士」が練習に励んでいます。

この大会は、練習の成果と技術的レベルアップを目的に開催したもので、会場にはそれぞれのお母も応援にかけ

つけ、大きな声援とわが子の試合ぶりに目を細めて観戦していました。

■試合の結果は次のとおりです。

- ▽団体戦
 - 優勝、相内小学校Bチーム。準優勝、相内小学校Aチーム。三位、臨元小学校。
 - ▽個人戦(低学年の部)
 - 優勝、白川逸朗(相小二年)。
 - 準優勝、山内珠美(相小三年)。
 - 三位、下沢昭治(太田小三年)。
 - ▽個人戦(高学年の部)
 - 優勝、白川康史(相小四年)。
 - 準優勝、三和真季子(相内五年)。
 - 三位、福土理子(相小五年)。
 - ▽努力賞、山田浩美(相小一年)。



成人式は、一月十五日午前十一時から相内の基幹集落センターで行います。
該当者は、昭和三十六年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生まれたかたです。

成人者名簿
(カッコ内世帯主)

30人がめでたく成人に

式典は基幹集落センターで



服装はできるだけ簡素にしたいものです

成人式は、一月十五日午前十一時から相内の基幹集落センターで行います。
該当者は、昭和三十六年四月二日から昭和三十七年四月一日までに生まれたかたです。

教育委員会で近く、個人ごとに案内を出すことにしていますが、対象者は全員参加するようのぞんでいます。
なお、服装はできるだけ簡素にして、成人式へ出るため多額の出費をしないようにしたいものです。

■相内・桂川・太田

- 岡本 高士子(兼四郎)
- 吉田 勇二(鉄美)
- 中山 真(佐一)
- 三浦 利幸(京一)
- 三浦 晃義(兼四郎)
- 西市 研(本人)
- 秋田谷 せき子(勇男)
- 岩間 みい子(定磨)
- 鎌田 圭子(好廣)
- 工藤 鉄子(仁人)
- 佐藤 淳(仁行)
- 土岐 よしえ(光治)
- 丸山 功(武夫)
- 奈良文子(豊彦)

■歴元・磯松

- 古川 和雄(一 次)
- 葛西 史賢子(敬太郎)
- 竹谷 悦子(兼光)
- 村元 良悦(則美)
- 葛西 真百美(三郎)
- 沢田 紀志子(繁太郎)
- 山崎 昌悟(リツエ)
- 新岡 美紀子(恒雄)
- 中山 智明(勇)
- 古川 牧子(政光)
- 高橋 和幸(精一)

■十三

- 浜田 隆行(春士)
- 成田 明美(勝由)
- 小寺 朱美(秀弘)
- 小倉 郁子(十三男)
- 渋谷 幸子(博)

年末年始の交通安全運動

十二月十七日から五十七年一月十日まで

安全運転で事故防止を

年末年始の交通安全運動は広く村民に交通安全思想・交通道徳を普及徹底し、正しいルールとマナーの実践を習慣づけることにより、交通事故防止の徹底をはかることを目的にしています。

市浦村内では、今年一月から交通事故により五人の尊い命が奪われています。その事故原因をみますと、ほとんどが暴走運転によるもので、交通ルールを守り、安全な運転を心がければ防げた事故ばかりでした。

これから年末・年始にかけては、酒を飲む機会も多くなると見えます。酒飲みの運転は

三色もち、をくばり安全運転してネ



みぞれの中、三色もち、をくばる相内保育所白鳥クラブの会員

相内保育所白鳥クラブ(吉田知子会長)では、十二月十五日、運転者に交通安全「三色もち」を配り、安全運転を呼びかけました。同クラブでは、子どもと老

人を交通事故から守るため、交通安全教室、街頭指導を行うなど自主的な活動を行っています。この日も、十七日から始まる年末年始の交通安全運動に先がけて街頭指導を行った。三色もち は、この日同保育所で交通安全を願ってつくあげたもので、会員たちは、青、黄、赤色をパツクした「三色もち」とチラシ配りに追われています。

このユニークな「三色もち」に運送者も「安全運転をします」とハンドルをにぎりしめていました。

文 作

明るく住みよい村づくり 私はこう思う

から村長賞 村議
会議長賞 教育長賞
を受賞した三人の
作品を紹介しす。

第二回公民館まつりに、村内小
・ 中学校の児童、生徒から多数の
作品が応募されましたが、その中
村づくりについて考えや、思
っていることが、子どもらしく素
直に表現されていると思います。

村長賞

村に対するわたしの希望

市浦中一年B組 三和裕子



私の住んでいるこの市浦村には、山がありそして海があるとても自然環境に恵まれた所だと思ふ。この自然の中で、私達は生活している。

夏、十三湖には多くの観光客が集まり、しじみ採りを楽しんでいる。私はこの美しい自然を利用して、十三湖にもっともったくさんの観光客が来るように考えたいと思ふ。

又、観光客の他に、この土地に住んでいる人々も十三湖からしじみ貝を探って生活している。

山からは、わらび、たけのこいろいろな山菜が採れる。この山菜を探りながらくらし

山や海から食べ物を探って生活している人々もいるが、市浦では主に田を作りながら生活している。

山からは、わらび、たけのこいろいろな山菜が採れる。この山菜を探りながらくらし、山や海から食べ物を探って生活している人々もいるが、市浦では主に田を作りながら生活している。

山からは、わらび、たけのこいろいろな山菜が採れる。この山菜を探りながらくらし、山や海から食べ物を探って生活している人々もいるが、市浦では主に田を作りながら生活している。

やませが吹き、例年とないような冷害をもたらした。私の家でも農家で、田を作っているが、一つぶの米とれず大変困った。祖母もも昨年のような冷害は初めてと言っている。それはやませとい

うのはおそろしいものだと思ふは感じた。

やませが吹き、例年とないような冷害をもたらした。私の家でも農家で、田を作っているが、一つぶの米とれず大変困った。祖母もも昨年のような冷害は初めてと言っている。それはやませとい

いうことに感謝して自分達の生活をだめにはないためにこれからもずっとこの美しい自然をこわさないようにいろいろ努力してほしいと思ふ。

私は今まで大都市にあこがれをいっていた。でもこの市浦村には都会の子供には味わうことのできな

い自然は年々減っていく。そのため、美しい自然は人間達の手で奪い取られていく。自然をこわさないようにいろいろ努力してほしいと思ふ。

このころは自分達が便利であればとどん自然をこわして行っている。そのため、美しい自然は年々減っていく。そのため、美しい自然は人間達の手で奪い取られていく。自然をこわさないようにいろいろ努力してほしいと思ふ。

このころは自分達が便利であればとどん自然をこわして行っている。そのため、美しい自然は年々減っていく。そのため、美しい自然は人間達の手で奪い取られていく。自然をこわさないようにいろいろ努力してほしいと思ふ。

議長賞

明るく住みよい市浦村にするために

脇元小六年 相沢 恵美子



市浦村を明るくするといふ考えはだれでももっていると思ひます。一口で明るい村といつてもそれはとても難しい事です。

市浦村を明るくするといふ考えはだれでももっていると思ひます。一口で明るい村といつてもそれはとても難しい事です。

「交通事故」これはとても大切な問題だと思ひます。こんな小さな村なのに今年にはいつて村内で死んだ人は五人です。それもその多くは子供、お年寄りです。

事故をなくすためには相内に新しく信号をとりつけました。このため相内では以前より交通がためりになったと思ひます。

しかし、信号をとりつけたとしてもけつて事故は防げないと思ひます。信号をとりつけても暴走、飲酒運転、とびだしなどをしければ事故を防げません。心の中心に信号をとりつけて、自ら事故を防ぐと努力すれば必ず事故を防止する事が出来ると思ひます。

明るい村づくり、これには事故防止もふくんでいと思ひます。次にでかせる事です。でかせる者の多い市浦村でもあります。

よく友達に「明日うちの父さん神奈川から帰ってくる」といふ事を聞いた事があります。とてもうれしそうな顔でした。

父親がいなき喜びが喜びに変わった笑顔でいっぱい。私のお父さんも喜んで



時、でかせぎにいつていまし
た。だからお父さんのいな
さびしきもちつびりわかり
ます。お父さんがいなければ
家の中が暗い感じなんです。
お父さんがいなければ

明く住みよい市浦村にする
にはでかせぎ者をごれ以上ふ
やしてはならないと思います。
そのためにでかせぎにいか
なくてはならない方法を考えな
ければならないと思います。
この他に緑も多くしたいと
思っています。

今年私は植樹にいつてなえ
木を植えて来ました。その時
見た森林はみごとなもので今
教育長賞

おかあさんのしごと



太田小一 年

下沢卓司

三を まわつて はいたつ
するからです。

ぼくの ちはは 牛にゆう
やです。だから おかあさん
は、まじ朝 五時には おき
てるそうです。
はじめに、おとうさんの
トラクに 牛にゆうを つ
みこんでしまいます。おとう
さんが 相内や、脇元や、十

でもいんように残つていま
す。
大きくなら自分の植え
た木を見にいこうと思つてい
ます。その時見た、村長さん
はいろいろお話をしてくれま
した。外国ではとても自然が
多く公園のきれいな所だった
そうです。あきカンをポイッ
とする人はいないし、たば
こもすてる人もいないそうで
す。

おあさんは ワゴン車か
らささつと、牛にゆうを つ
かみ、「牛にゆうでーす」

と はりきつて 一けん一
けんまわります。
「たく、あこのいえき 二本
おいで、こい」
というとき、ぼくも おかあ
さんに、まけないようには
しつて、「牛にゆうでーす」
と 元気よく、うううと
「朝早く、おきで、めんこい
なあ」といつて、くれるので
「こんど、どこちや、おいで
くる」といつて、おかあさ
ん、みたいに、手早く、やろ
うと、いそいで、おいであ
ります。
おかあさんは、はいたつが
おわると
「こいじや、こいじや」
と、いいながら、朝ごはんの
したくを、します。そして
「はやぐ、めしけ」
と、いって、いそがせます。
おかあさんは、朝ごはんを
たべないで、びんあらいと
とりかかります。なぜかと
いうと、おとうさんが、十一
時ごろに、かえるので、おと
うさんと、いっしょに、ごは
んを、たべるためです。
「ママ、はらへねな」
というとき、
「はらへるばつて、パパば
まつてるじ」
と、いつて、じょうきを、わ
かして、びんを、ていねいに

あらつて、います。
ぼくが
「びん、あらつて、てづだう
というとき、
「サンキユ、サンキユ」
と、いつて、にこにこしな
がら、はなうたを、うたつて
いました。
おかあさんの、手は、すご
く早く、うごいて、います。
そして、びんとびんの、ぶつか
る、音が、カチン、カチンと
なつて、います。そして、手
から、びんが、すべつて、レ
ンガに、ガチャンとおとすこ
とも、あります。おかあさん
は、
「ありや、」
と、いつて、わらつて、いま
す。

おかあさんは、この、ほか
に、牛にゆうを、つめたり
牛に、水や、ふすまを、あげ
たりして、一日中、いそがし
く、はたらいて、います。き
ようだいけんかを、すると
「なに、やつてらば、」
と、こわい、おかあさんに
なりますが、手つだつて、や
ると、にこにこ、かあさんに
なります。
ぼくは、いつまでも、わか
い、おかあさんで、いて、ほ
しいとおもつて、います。

「人間には、いけるさかど」が
なければいけません。その、ふ
るさきを、住みよい村にしてほ
しいと思います。
(作 文 審 査 員 鶴 賀 善 宏)

将来に夢をもつて

去年から「健康で明るい快
適な村づくり」の集金が開か
れ、それを記念して村内小・
中学校の作品展を行いました。
その一部門である作文を審
査させていただきましたので
その感想をのべてみます。
今年、は、約五十編読ませ
いただきましたが、「わたし
の住む市浦村」の題で書いて
くれた方が約半数でした。書
かれた内容は案内という
ものが多く、将来わたしたち
の村をどのようにしようかと
いう内容が少なかつたのは残
念です。それと比べて小学校
低学年は「父・母のしごと」
が多く、よく仕事を観察しま
とめていました。ただ、「将
来こんな村民になりたい」と
いう内容もつとほしかいた。
来年も行われると思いま
すが、もつと自分の村をどう
すればよいか、ということ考
え、自分なりに将来の夢をも
つて、実現するためにがんば
ってほしいと思います。
「人間には、いけるさかど」が
なければいけません。その、ふ
るさきを、住みよい村にしてほ
しいと思います。

（作 文 審 査 員 鶴 賀 善 宏）

役場の電話は
2111番です

おしらせ

**青森県営農大校
学生及び青森県農業
青年大学受講生募集**

県では、農業に従事又は従事しようとする青年を対象とし、高度な営農技術を習得してもらうため、次のとおり学生を募集します。

名称	営農大校	農業青年大学
概要	全寮生の大学校で営農技術の講義・実習を行います。	農業に従事しながら指定する期日に公共施設等で研修を行います。
応募資格	高校卒業（見込み含む）又は同等の学力を有すると認められる者	70名（東郷野雲・森野・東郷課員）
募集人員	70名（畑作園芸・畜産・果樹課程）	70名（兼合課程年5回、1回5日）
修業年限	2ヵ年（全寮）	2ヵ年（兼合課程年5回、1回5日）
願書受付期間及び提出先	昭和57年2月17日～2月27日 七戸町大沢4の8 青森県営農大校	昭和57年1月16日～2月20日 各農業改良普及所
試験科目	現代国語・数学Ⅰ・生物Ⅰ 作文 口述試験	作文・口述試験
試験日及び場所	昭和57年3月16日 青森県営農大校	昭和57年3月上旬 各農林事務所
その他	推薦入学制度あり	

詳細については、青森県営農大校（電話0177 62-3111）または最寄りの農業改良普及所、青森県農務課へお問い合わせください。

**昭和56年
工業統計・工業実態
基本調査にご協力を**

製造業の皆さん、通商産業省では昭和56年12月31日現在で、昭和56年工業統計調査を実施します。

この調査は、製造業を営む事業所を対象として、製造品の出荷額、原材料使用額、有形固定資産額などを調査し、工業の事態を明らかにすることを目的としています。この統計調査の結果は、例えば都市開発や下水道整備計画の立案に利用されたり、また、みなさんが、各種製品の生産販売計画をたてる場合の参考にもなるなど、生活と深い関係があります。

また、本年は工業実態基本調査が行われます。この調査は企業の実態の姿について正しい資料を集めることを目的としたものであり、中小企業の経営の安定を図り、国の経済を健全に発展させるために、ぜひとも必要なるものです。

調査をお願いする製造事業所には、年末年始にかけ調査員が調査票を持って伺いますので、ご協力を願います。

なお、調査票に記載された内容は、外部にはおしらせしませんので安心してご記入ください。

市浦村の人口と世帯

(12月1日現在)

人口	4,272人
男	2,099
女	2,173
世帯数	1,114



**「国の進学ローン」
のご案内**

国民金融公庫では、高校・大学へ進学されるお子様をお持ちのご家庭を対象として、進学資金貸付の利用を呼びかけています。

手続も簡単ですので、借入を希望される方は公庫へ申込書をご請求ください。(お電話でも結構です)

○取扱期間

1月4日から4月まで。

○融資限度

1世帯50万円以内。

○利率

年8.3%

○使途

学校への納付金、受験費用、教科書代、制服代、下宿の敷金など進学に必要な資金。

○返済方法

お子様の修学年限以内の元利均等月賦返済。(ボーナス払併用もあります。)

○保証人

1名以上。

進学保証基金利用の場合は不要。

その他くわしいことは下記へお問合せください。

弘前市大町3の1の18

国民金融公庫弘前支店

TEL0172-36-6303

なお、お近くの銀行、信用金庫、信用組合、農協、漁協、労働金庫でも取扱っております。

郵貯進学積立をされている方は郵便局へご相談ください。

**事故防止へ
ひこく**



金木地区交通安全協会
青森支部長 藤田 和廣

年末年始の交通安全運動は十二月十七日から二十五日に行われますが、運動の重点目標に、飲酒・暴走運転の追放、子どもと老人の交通事故防止、踏切事故防止をかかげています。

この運動は、今年最後のしめくくりと、一年間の反省に立った新しい年へ向けてのスタートの運動でもあり、重要で意義のあるものだと思います。

明るい新年を迎えるために、残り少ない五十六年を無事故で過し、昭和五十七年こそは交通事故による死亡者を絶対出さないようにしたいものです。

子どもたちも冬休みに入り気もゆるみがちになると思います。冬休み中に多い子ども達の交通事故防止のため、みんなが気を配ってやる必要があります。



生涯教育をわが家へ

派遣社教主事 片山永繁

「学社一体」という言葉を耳にしたことがあると思います。いわゆる、学校と家庭や関係機関・団体が一体となって教育活動を推進しようというのである。

文部省・県教育委員会も連携協力を重点事項に組み入れた。しかし現状は、双方の連

た。しかし現状は、双方の連た。さらに、独自性をもちなが

らも協力しながら教育活動を進めていくためには、学校・家庭・社会教育機関・団体が発達段階における生涯教育の意義をより一層理解すると同時に、相手の機能についても理解を深めることが重要である。

窓の戸籍

お誕生

橋引 夕子 (協元) 逸朗
 沙紀 (協元) 賢三

おくやみ

山内興一郎 (相内) 79歳
 糸谷 健治 (相内) 87歳

- 吉田 光雄 (相内)
- 奈良 順子 (弘前)
- 長谷川 裕 (小泊)
- 三浦 浩子 (相内)
- 三浦 勝雄 (田舎郎)
- 岩間 順子 (青森)
- 木村 勝春 (相内)
- 田中みり子 (相内)
- 水木 淳 (青森)
- 黒川千賀子 (協元)

母子の会話

「断絶」という言葉がマリス コミにきかせたことがあり



親と子供の間で、互いに意思の疎通がなく、互いに相手をしない、ことや言うことがよく分らない、というのがその一つで

界期に、親子の間ではくまられると言えます。

親子の心がよれあうためには、まず第一に自由でのびのびとした雰囲気が必要で、子供が親を怖がって何も言えないようでは困ります。

心のふれあい

のびのびとした雰囲気の中

生まれる

三和卓正さん長男・2男 (相内)

邦光ちゃん (11ヵ月)
 室光ちゃん

パパは大きなダンプカーを運転しているんだ。ボクたちはママとおばあちゃんと一緒に元気に遊んでいるの!

編集室から

二年続きの冷害にみまわれ、た一九八一年も余すところ数日。なんとまあわたらしい年の瀬となりました。

桑野